



復刊第97号
題字 吉岡 弥生

昭和五十九年々頭の辞

会長 三神美和

新年おめでとございます。會員の皆様にはお元気に新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年中はいろいろとご協力下さいましてありがとうございます。何卒、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨今の国内外の状況はまことに騒騒しゅうございますが、昨年の本会は本当に平和な一年でございました。これもひとえに會員の皆様のご協力によるものと深く感謝しております。昨年国連のコミュニケーション年でありましたが、本会はまさにこの精神の忠実な実行者だったと思うのでございます。

二月に京王プラザホテルで行なわ

れた研修会は、多数の出席者を得て、まことに盛会でありました。その有意義のご講演には深い感銘をうけました。五月には第二十八回の日本女医学会総会が岡山市で開催されました。これもまた、岡山県支部の一九となつてのご協力によつて、立派に盛大に行なわれました。一昨年早々からのご準備、宿泊、評議員会のお世話、総会の進行へのご配慮、さらに盛大な懇親会の企画などまことに見事なものでございました。さらに総会後のバス見学も多数の方々が参加され、参加者一同感激と感謝の気持ちでいっぱいでした。一年に一度総会を開くことは、お世話いただく支部の皆様にとつて本当に大変なことですが、

内の會員一同が集まり、そこで会の一年間の総決算をし、来るべき年度の計画を討議してゆくと同時に、お互いに親睦を密にし、コミュニケーションの場をつくることは、会の発展のためまことによろこばしいこととございます。地元の支部の方々も、この準備のため、支部内の団結が一層強くなることと存じます。日本の女医を代表する方々によつて組織されている本会が、相互理解の精神をもつて団結することが、会の発展と進歩につながるものと存じます。その意味で、役員改選の年以外は、総会を支部持ち廻りにしていただいておりますが、引き受けられた支部は、毎度、一生懸命にとりくまれ、いつも立派な総会をしていただいております。誠にうれしく、感謝に堪えません。

コミュニケーション年にふさわしい昨年のごで付け加えたいのは、まだ総会総会は開いておりませんが、一つの企画として、東京都支部連合会のご覧でございます。東京都は各区および都下がおのおの支部単位となつておりますが、東京都全体としてのまとまりがつき難く、総会などあるたびに、他府県の支部のように、一丸となつて仕事をするという態勢がつきにくいのであります。千名に近い會員を擁する東京都が一九となつて活動する時、何か素晴らしいことができるのではないかと、いつも思い、このことがかねてからの私

もくじ

昭和五十九年々頭の辞	三神 美和	(1)
支部近況		
福井支部だより (福井支部)	笠原智寿子	(2)
石川支部だより (石川支部)	米林 梅子	(3)
青森支部だより (青森支部)	三上 ホフ	(4)
関西医科大学同窓会創立五十周年式典に出席して	町 静子	(5)
厚生白書を読んで	佐藤千代子	(5)
年金給付が多くなりました	柳瀬 路子	(7)
シルクロードの旅	添田 百枝	(8)
忙中閑／頭北面西右脇	小出つる子	(9)
昭和五十八年度定時総会ご案内		(4)
国際女医学会第十九回国際会議参加のお誘い		(6)
理事会議事録		(9)
常任理事会議事録		(11)
会員動靜		(11)
會員の消息		(12)
編集後記		(12)



の念願でありました。昨年初めからこの話がわかにかに具体化して、各支部ごとに会を持ち、意見をまとめ、その結果、いよいよ今年二月には発会総会を開くところまで漕ぎつけました。紆曲折はありましたが、支部長の方々の協力によって、東京都支部連合会という名称の下に発足することになりましたことは喜びに堪えません。発会総会が開かれた暁には、皆様のご意見をよく承り、会として立派な仕事ができますれば、私は本望であります。医療事情はますますきびしくなります。この時、

支部近況

福井支部だより

福井支部 笠原智寿子

日本女医学会福井支部より会員の消息と私たちの住む福井の紹介をさせていただきます。会員は総勢十五名の全国最少に近い、そして小さい県の女医学会です。

しかし会員それぞれはすばらしい足跡を残しておられた、現在地区の中で誰にも劣らずユニークな仕事を続けておられる方がかりです。ここに佐々木待先生と畑きくみ先生

お互いに自己防衛のためにも、また、社会に役立つためにも、会員相携え、手をとり合って、医療にも、社会にも立ち向かってゆくことが肝要であります。かかる時こそ、日本女医学会が、会員の拠り所となって、お役にたかねばならないと存じます。今年、昨年のあとをうけて、会員にとつて頼り甲斐のある日本女医学会に発展させたいと念願しております。会員の皆様の一層のご協力、ご助言を切にお願い申し上げます。今年、国内においては、第一に、一月二十一日、大阪で例年のごとく

學術研究会があります。學術部の骨折りで、すでに発表されている最先端の遺伝のご講演と、吉岡弥生賞受賞者の講演があります。多数のご出席を念じております。第二に、五月二十六日には、日本女医学会の総会が横浜で開催されます。神奈川県の方々は、昨年早々からいろいろと計画し、準備されておられます。本当にありがたいことだと思います。新しくなった横浜の市内見学、また、天下の景勝地箱根根根光など、総会後の親睦の旅も発表されております。多数の方々がご出席下

さいまして、主催者のご熱意に成えてあげて下さい。国外においては、第十九回国際女医学会が七月末にカナダのバンクーバーで開催されます。すでに申し込みされた方もあると思いますが、カナダは気候風土ともよい所でございますし、日本からあまり遠くありませんので、ぜひ多数の会員がご出席下さいますよう、期待しております。演題はすでに発表されておりますが、「男と女」というのが主題です。ウーマン・リブの叫ばれております今日この頃、定めし興味ある出題が

多いのではないかと思います。女医の目を通して各国の事情も分かるのではないのでしょうか。これを参考にしてお国の女性の地位向上に役立てばと念願しております。役員の方々のご熱意とご協力によって、理事会も充実し、仕事も捗っておりますことは、何にもましてよろこばしいことと存じます。今年もお互いに手を携えて日本女医学会の力を世に示そうではありませんか。よりよい年でありませうと祈念して新年のご挨拶いたします。

の「かがみ」かと思われれます。現在は栗田部にて医業を弟・一郎氏にゆずられ、ゆうゆうのご生活でおられます。

畑先生は待先生のご親友で戦時中にご主人亡きあと主婦業より医師に復帰開業されました。ご子息たちも立派に成人され、ご長男に医業を譲られ、ただ今は日本画に精進されております。画風は華麗で繊細ですが、とても八十五歳とは思えず、先生を一生支えてこられたバックボーンを感じとれる力強いものであります。毎年新作を展覧会で拝見しますが、やがて個展も催される事とお待ちしております。

次にわれわれの住む福井をご紹介します。いにしえ万葉の歌人は「み雪降る越」とうたっております。雪の多い事はご存知と思われま

が多く、文化的には早くより開け、高い水準のものであったといわれており、それを二、三の史実より伺い知る事ができるかと思われれます。「花筐」といえば少しでも謡曲に触れた方ならばご存知の有名な曲であります。越前の国味真野より男大迹の皇子が大和より迎えられ継体天皇となられたわけですが、照日の前がはるばる大和まで慕い上つてついに会ひでき王穂の室に迎えられ

るわけですが、謡はその恋慕の情と狂わんばかりの思いつめた状態の演出がねらいかと思われれます。史実では西暦六百年代、継体天皇に即位される以前に約五十年間越前に在られ、河川を修理し農業を奨励し、産業を興したと伝えられ、今も足羽山頂上に銅像が建てられております。また、『太閤記』、『徳川家康』等の戦国のドラマの中に出てまいりま

す。しかし古代より京大和との交流

す織田信長の妹お市の方の一生は戦乱の世の女としての哀しい運命をたどり特に絶世の美人であったと聞くだけに心の傷む想いがいたします。

主人の浅井長政は兄信長にうたれ、三人の娘と伴い再び柴田勝家に嫁し、またも苛酷な戦いの渦中にて秀吉に城を包囲され、主人勝家とともに、北ノ庄城に火を放ち、自らの生命を絶つたわけでありました。当時三十七歳と記されております。その北ノ庄跡が福井市の中心繁華街の裏手にひっそりと柴田神社として残されております。

郷土幕末の医学者の若狭小浜藩の杉田玄白と福井藩の笠原白翁は『解体新書』、『蘭学事始』および種痘を日本で始めた医学者として医学史上大きい功績を残されました。それも福井藩や小浜藩に学問や医学を奨励する素地があり、それによって育ま

込むかということでした。燕に獅の身を挟み翹で漬けたものですが、天候や気温の影響を受けやすく、相当気を遣います。それでも家の者が「おふくろの味」といつてくれるねざらいが嬉しくて、毎年つづけている始末でございます。

園内の雪吊りがここから始まるのが例となっている唐崎の松はすでに

青森支部だより

青森支部 三上 ホフ



三神会長を迎えて

幾何学模様の衣裳をまとってました。瓢池の辺りに佇み、雨上りのあてやかな紅葉を愛でながら、今日まみえることのできた一期一会の縁が、ありがたく思えるのでした。

池なごみさだかに映る照紅葉
雪吊りや秀先のかなた空碧し
髪受くる落葉ひとひら園めぐり

昭和三十二年十月結成された青森支部は会員数五十名で今年で第二十七回の総会を迎えることになる。

十一月九日特急あけぼの一号(午前八時三十三分)着の日本女医学会長三神美和先生を本州北端の弘前駅にお迎えする感激と喜びに私ども、福原輝、川嶋和子、前田慶子、白取田鶴子、三上ホフの心は、小雨降る曇空にもかかわらず晴れやかだった。

三神会長先生はお疲れの気配もなく、赤いバックを背に颯爽と降りて来られた。朝食を開店間もない土手町繁華街の法華ホテルの十三階で召し上がっていただきしばらく弘前市の全景をお目にかけました。

宮崎きみ先生のご実家の石原病院をたずねられましたので、すぐ眼下の山道町ですと指さし、岩木山の見

昭和58年度定時総会のご案内

日時………昭和59年5月26日(土)、27日(日)

場所………横浜市市中区山下町・神奈川県立県民ホール

総会・評議員会………5月26日(土) 本部運営

講演会………東京女子医大附属消化器センター名誉教授
中山癌研究所所長/中山恒明先生

懇親会………講演終了後6時頃よりホテル・ニューグランドにて

観光………5月27日(日)

Aコース………横浜市内観光

Bコース………横浜市内観光及び箱根方面(箱根泊)

最近とみに交通渋滞が激しいため、鎌倉その他の名所へのご案内が
できず残念ですが、どうぞ多勢のご参加を支部会員一同、心から
お待ちしております。

*なお、詳細については、後日ご案内申し上げます。

神奈川支部長 稲生 襄



えないのが残念そうであられた。
しばらく法華ホテルで休養していただき十二時より開会の会場である
割烹翠明荘(戦前津軽の大地主の別邸)へご案内する。

翠明荘の庭園が気に入られて、しばらく縁側にたたれて眺めておられました。

当日の支部総会は連休が裏目に出
て、いつもご出席の方々が中国旅行

とか医師会の休日当番、大学のクラス旅行等々で出席が少なかったのはたいへん残念でしたけれども、はじめて出席の方々は会長先生にお目もじでき、日本女医学会の存在の意義を力強く話される先生の立派なご人格にふれることができましたのをたいへん嬉しく思っておられました。

貴人立の福原先生の茶杓をもたれた手が緊張のためふるえたとのこと。

また日本舞踊の白取先生はこの日のために新調された着物と袴で舞われた姿は楚々として、たいへん良かったと思われました。

津軽獅子舞を保存会の方々に踊っていただき、ネプタはやしをおききいただき、たいへん楽しい充実した支部総会でした。その後、有志の方々と弘前公園をご案内し、それから宿泊地の大鰐温泉までおとしまし

た。途中の津軽平野は稲も刈りとられ奥羽山脈が静かに雨に煙つていました。

歴史にこのごろ興味をもっていた私は山梨県のご出身の三神会長先生に武田信玄にご関係ありますかとおたずねしましたところ、木曾義仲の後えいで巴御前の血をうけておられますとのことをさりげなくお話になられておられましたので、私は深く

感動いたしました。

次の朝は日本晴れ。すっかり旅のお疲れもとれた先生を大鰐駅にお見送りいたしました。

目にせまる山々をプラットホームで眺めながらなんと静かな風景でしょうとポツリとおっしゃられ、車中の人となられました。

先生をこの北の果てにお迎えできたことは青森県支部会の大きな喜び

であり感激でありました。

あらためて三神会長先生に感謝し、一層のご健康とご多幸をおいのり申し上げ、日本女医学会の発展を心からおいのり申し上げます。

厚生白書を読んで

愛知支部

佐藤千代子

林厚相は昨年十月四日の閣議で昭和五十七年度厚生行政年次報告書(五十八年版厚生白書)を報告、了承された。副題は「新しい時代の潮流と社会保障」。その要旨をしるすと、

第一章 社会保障の動向と課題

〈社会保障給付費〉

社会保障給付費は昭和五十六年度で二十七兆三千五百七十八億円に達し、対国民所得比は一三・五%となつた(前年度は二十四兆六千四百四十四億円、所得比は一三・七%)。この比率は欧米諸国の水準と比較するとまだ低い。今後、人口の高齢化や年金制度の成熟化に伴い二十一世紀初めには現在の欧米水準(二二・三%)に到達すると推測される。

〈社会保障の転換期〉

冒頭に「わが国経済社会は高度成長を経てかつてない豊かな社会が実現した」との認識に立つて、国民の価値感の多様化を背景とした新しい時代の流れにふさわしい制度の在り方を検討してゆく必要があると強調している。経済の低成長時代を迎え「社会保障制度の量的水準の向上だけを目指した時代は終わった」と質的転換を示唆し、今後の高齢化社会到来をふまえて、「社会保障を現行制度のまま進めると、国民の負担は相対的な水準となると推計されており、国民が将来の負担を適度な水準にとどめることを選択するとなれば」の前提のもとに「給付の効率化、合理化を進める一方で、適正な受益者負

担を導入する以外ないであろう」と、見直しの意図を明白にしている。

第二章 進展する科学技術と厚生行政

〈バイオテクノロジー〉

バイオテクノロジー(生命工学)の保健医療分野への応用について積極的な展開を図る。倫理的諸問題として、「脳死」「体外受精」「末期患者の医療行為」等について、いずれも幅広い国民的議論を積み重ねて、社会的な合意を形成していく必要がある。

がんの克服をめざして

がんによる死亡数、五十七年度十七万九千七百七人で死因の第一位、その中で胃がんがもっとも多いが、肺がん、結腸、直腸がんによる死亡が上

関西医科大学同窓会

創立五十周年式典に出席して

大阪第一支部 町 静子

関西医科大学は昭和八年第一回生の女医を初めてこの大阪に出した。大阪の開業医の浜地先生が創立者である。昭和二十七年までは阪女医専卒、二十八年、二十九年卒の方は女子医大卒、三十年卒からは関西医大卒として男子も卒業されている。今日めでたくもその創立五十周年の祝典を恩師とともに挙げられるので日本女医学会長三神美和氏に案内状が届けられたが、折悪しく先約にて地方支部会へ出張のため私に代行を依頼された。

私は淀川を一つへだてた近所から出席しました。現在医大の卒業生は約四千人あまりと聞く。昭和五十八年十月八日、九日その卒業生出席者は千五百人あまりという。午後三時式典挙行さる。場所はザ・シンフォニ

ーホール。祝詞について昭和十一年卒の大原一枝医博が学校の歴史等を語られた。四時からは記念講演「人生と文化」平沢興先生。五時過ぎより記念演奏(ドボルザーク・新世界より 関西フィルハーモニー)、ついで同窓会五十周年の歩みのマルチスライド放映があり、たいへん催しでありました。祝賀の宴は七時よりホテルプラザで行なわれ、翌九日は母校周辺の見物。午後は琵琶湖をミシガン号にて周遊し、さては、辻久子女史のバイオリンコンサートと、楽しい集いが続き喜びの中に閉会となりました。私は夜は欠席いたしました。たが聞き伝えられた数々の行事にためとようと申し上げてます。ご発展を祈ります。

昇している。がん本態の解明に向け五十八年六月「対がん十カ年総合戦略」を策定、今後十カ年を用途とし集中的多角的研究をすすめる。

第三章 より高い健康をめざして

受療率や有病率は高齢層におい

て上昇している。傷病の推移としては循環器疾患、精神障害の増加が著しい。循環器疾患への対応は、個人が日常生活をより健康的に送ることが基本である。高齢人口の増加に伴い老人の精神障害が増加している(老年性痴呆を主として)。

第四章 時代に即応した医療保障

医師数は人口十万人対比百四十五人、今後過剰を招かないよう配慮し、合理的養成計画の確立について検討中である。

医療用医薬品の流通の改善に取り組んでいる。医薬品の有効性と安全性の確保のため、医薬品の製造の承認に当たっては、審査のより一層の厳格化を図っている。

〈医療費の現況〉

医療費の増加として、国民医療費は十二兆八千七百九億円、対国民所得比六・三六%、医療費の伸びる要因は人口の高齢化、疾病構造の変化、医学技術の進歩による。患者負担の減少や受療機会の増加が医療需要の増大をもたらしている。

〈医療費の負担と分担〉

医療費の大部分は医療保険制度で賄われているが、その財源構成は保険料が五四%、国庫負担が三〇%。医療費の五三%は病院に帰属し、年増加の傾向にある。

〈医療費の適正化〉

医療費の増大による国民経済への圧迫の危惧、国民の生活内容向上に伴う意識変化、成人病が主要な疾病となり健康への自己管理責任の増強等、保険医療を取り巻く情勢には大きな変化を来している。国民の負担能力の範囲内で効率の高い良質の医療を供給し、国民の健康と医療の水準を維持向上させていくことが必要である。

医療費の適正化として、健康づくりやコスト意識の徹底による国民運動の展開、診療報酬の適正化、薬価基準の改正、医療機関に対する指導監査の強化等を実施。

〈医療保険制度の安定化〉

各制度間の給付格差について負担と給付の公平化の観点から制度全般にわたる検討が必要。医療保険が、国民の医療に對し果たすべき役割を基本的に再検討し制度全体にわたる改革をすすめる。財源の厳しい制約の下で適切な医療サービスを国民に円滑に提供していくためには、医療保険の給付範囲についての見直しが必要である。この章において再度制度改革を強調している。

第五章 老後生活を支える年金

公的年金の長期的安定のため、制度の一元化の展望のもとに、制度全般の見直しを図る必要がある。

第八章 国民生活と福祉 (省略)

第七章 国際社会への貢献 (省略) 指標編 (省略)

コメント

「わが国経済社会は高度成長を経たかつてない豊かな社会が実現した」との認識に基づき、現在の医療制度、年金など社会保障制度の積極的転換を図るべきであると強調している白書である。

前年の白書においても副題は「高齢化社会を支える社会保障をめざし

て」と社会保障制度検討の必要性に言及しているが、社会保障の明確な見直しの具体的方向を示したのは今回が初めてである。

社会保障の量的水準の向上だけを目指した時代は終わっているとし、

①高齢化社会に入り、成人病が疾病の重要部門となった現状に相応した医療費支出の適正化、②医療保険各制度の安定化、③公的年金等の制度全般の見直しとの政策課題を鮮明にし、その具体策として「受益者負担の導入や給付の効率化、合理化」を打出して来ている。国家財政窮乏という経済視点に立つての急激な展開である。

国民皆保険、皆年金体制が実現した昭和三十六年当時と比較し、国民一人当たりの所得は一〇・五七倍と増大し、所得格差も縮小したことを指標に「豊かな社会の実現がこのような見直しを可能としている」と理由づけているが、国民自身は、白書のいう豊かさを肯定した中流意識であろうか。確かに現代は、羊羹社会といわれるごとく生活水準は平均化しているが、「人々の価値観は個性化を深めている。社会保障のこれからの進路は、豊かで多様な関心をもつ社会を背景として、新しい時代の流れにふさわしい制度のあり方を検討していく必要がある……」との認識と、受益者負担強化容認との接点は十分に不可解である。国民の健康願望は過去も未来も万人同一である。

「わが国の現行社会保障制度は世

界的水準から見ても高い位置にあり、その結果として豊かな生活を招来した」との判断にたちながら、今、大幅な見直しを図る理由についての明確な理由は説明されていない。

低下させる禍根を残すことにならないうだろうか。また、ことに将来の社会活力の担い手である世代の健康保持を考慮しての国家大計に基づく論議が尽されたのであろうか疑念を持つものである。

国際女医学会第19回国際会議参加のお誘い

七月二十九日から八月三日まで、カナダのバンクーバーで開催されますので多数のご参加をお待ちしております。

日時 昭和五十九年七月二十九日から八月三日まで
場所 カナダ(バンクーバー)
申込み金 十五万円(登録費を含む)
コース

一、会議とアメリカ大自然の旅
期間 昭和五十九年七月二十四日(火)〜八月五日(日)
概算 七十二万円(登録費別)
旅程 成田発〜シアトル(二泊)〜ソールトレイクシティ(二泊)〜イエローストーン国立公園(二泊)〜バンクーバー(七泊)〜機中泊

二、会議とアラスカの旅
期間 昭和五十九年七月二十四日(火)〜八月五日(日)
概算 七十九万円(登録費別)
旅程 成田発〜アタカレッジ(二泊)〜バルディーズ(二泊)〜アタカレッジ(一泊)〜バンクーバー(七泊)〜機中泊

三、会議とカナダ横断ハイライトコース
担当者・外川グループ ☎〇三二七四一六八七
期間 昭和五十九年七月二十九日(日)〜八月九日(木)
概算 七十八万円(登録費別)
旅程 成田発〜バンクーバー(六泊)〜モントリオール(二泊)〜ケベック(二泊)〜ナイアガラ(二泊)〜トロント(二泊)〜機中泊

四、会議とイエローストーンコース
期間 昭和五十九年七月二十九日(日)〜八月九日(木)
概算 七十五万円(登録費別)

年金給付が多くなりました

年金委員 柳瀬 路子

昨今のようないいものは高くなる金利は下がる地価は押えられて固定資産税は上るといふ世相の中で、一向に診療報酬は適正化されず、われわれ開業医は老後の生活設計を考えるのに寿命の延びたのを喜んで良いものやら嘆いて良いものやら、まことに

すっかりと利殖の道を考えてゆかねばならなくなりまして。子供の扶養に頼る考えは前時代のこと。実態調査で拝見しても基礎になるものは退職金、年金。それが無い開業医は早くから蓄産にからかねばならない。しかし現況ではその余裕もなく、保

図1 老齢年金

受給資格取得の翌月より10年間、加入期間に応じた年金を給付いたします。

●35歳で10口加入の場合 (65歳より給付)

毎月の給付額 → 年金手取総額
420,900円 (384,600円) 50,508,000円 (46,152,000円)

毎月の掛金 → 掛金支払総額
30,000円 (30,000円) 10,800,000円 (10,800,000円)

掛金よりこれだけ多く受けとれます 39,708,000円 (35,352,000円)

●40歳で10口加入の場合 (65歳より給付)

毎月の給付額 → 年金手取総額
279,800円 (255,600円) 33,576,000円 (30,672,000円)

毎月の掛金 → 掛金支払総額
30,000円 (30,000円) 9,000,000円 (9,000,000円)

掛金よりこれだけ多く受けとれます 24,576,000円 (21,672,000円)

() 内は旧額です。

図2 年金月額表

●65歳開始の場合10口加入に対して

() 内は旧額です

(A) 年金月額表

加入年齢	年金月額	加入年齢	年金月額
30歳	624,500円 (570,600円)	43歳	216,100円 (197,400円)
31	577,900 (528,000)	44	197,700 (180,600)
32	533,900 (487,800)	45	179,900 (164,400)
33	493,800 (451,200)	46	164,200 (150,000)
34	455,700 (416,400)	47	149,100 (136,200)
35	420,900 (384,600)	48	134,600 (123,000)
36	388,800 (355,200)	49	121,500 (111,000)
37	358,600 (327,600)	50	109,700 (100,200)
38	330,300 (301,800)	51	97,800 (89,400)
39	304,100 (277,800)	52	87,300 (79,800)
40	279,800 (255,600)	53	77,500 (70,800)
41	256,800 (234,600)	54	68,300 (62,400)
42	235,800 (215,400)	55	59,800 (54,600)

〈表の見方〉40歳で20口加入された方は、年金月額は、279,800×2=559,600となり65歳より10年間給付されます。

難しい専門的な数字はあくとして、大きな変更は年金の給付が増額されたこと。掛金が五年を超え十年までは受給率が現行より六・三%上がったこと。十年以上は九・四五%上がったこと。それに伴い遺族年金および中途脱退金も上がりました。中途脱

険事業に望みを託すことになりましょう。その意味で、日本女医学会が昭和四十三年という早い時期に年金事業に着眼し、会員に有利な事業を進めてきたことは、まことに先見の明があったと思う次第です。年金制度発足以来、その財政については五年ごとに財政診断を行ない堅実な歩みをつづけて来ましたが、昨秋通算の結果、五千万余の剰余金が算出されました。近ごろ、種々の新型保険が喧伝されるにつけ、女医学会の年金を少しも有利にしたいとは、前々より会長はじめ委員一同考えておりましたが、この剰余金の算出を得て、会員に還元給付改善をしたいと新理事会が発足して一年、事業部も協力して関連会社を呼び、話し合いをつづけてまいり、安田生命も誠心誠意試算され、今回受給率を引き上げる発表ができるようになりました。これも一重に会員協力の賜物とご同慶にたえませ

退の場合、信託並の利益率となりますが弔慰金があるだけこちらの方が有利であります。なお新しい年金制度のパネルレットが本会誌と同時発送されるはずですが、日本女医学会年金制度の特長・老齢年金給付の利得をよくご覧下さい。また今回の計算は現況のまま運営されても二十年は運営可能という目安が立っております。これを機会に新規加入、追加加入(すでに加入されている方も条件によっては増額が適用されます)など、口数を殖やしていただきたい。またお若い方には一層有利と思いま

すのでこの際多数のご加入をお勧めする次第です。年金問題については引続き事業部と協力してプランを練っております。相互扶助の目的を果たすために、われわれも努力しております。会員の皆様もどうか加入ご協力下さいましてますます年金事業を育成して下さいますよう、誌上を通じお願い申し上げます。なお本事業に対しご意見がありましたらどしどし本部宛お申し越し下さい。

*詳細については後日パンフレットその他でご案内申し上げます。
三二五カナダドル 昭和五十八年十二月十日までの申込み者
三五〇カナダドル 昭和五十九年四月十日までの申込み者
三七五カナダドル 右以後の申込み者

送金先 渋谷区渋谷二一八七青山宮野ビル内 日本女医学会
振込み先 富士銀行渋谷支店 普通預金口座/No.一六八〇七四二
名義/日本女医学会カナダ国際女医学会議長 三神美和
概算の中には登録費は含まれておりませんが国際女医学会へのお土産代等の五千円が含まれています。また概算費用は現行運賃にもとづき、参加人員十五名以上を基準とされております。
なお登録費は国際女医学会払込みの期日より、三段階に分かれております。また外貨換算による登録費の変動は登録手続終了後に清算いたします。
登録費金額

旅程 成田発(バンクーバー(六泊)→グランドテントン国立公園(一泊)→イエローストーン国立公園(二泊)→サンフランシスコ(一泊)→機中泊)成田着
・コース三、四の担当は阪急交通社トラベルプロモード。
担当者・中村グループ。☎〇三二五〇一五九一三
申込み方法 参加希望者は上記四つのコースからご希望のコースを選び、申込み金十五万円(ただし登録費を含む)をご送金またはお振込み下さい。

●中国紀行

シルクロードへの旅

●中国紀行
シルクロードへの旅
シルクロードへの旅
シルクロードへの旅

シルクロードへの旅
シルクロードへの旅
シルクロードへの旅
シルクロードへの旅

図2 年金月額表(つづき)

●70歳開始の場合10口加入に対して (B)年金月額表

Table with 4 columns: 加入年齢, 年金月額, 加入年齢, 年金月額. Rows for ages 56-65.

〈表の見方〉56歳で20口加入された方は、97,800×2=195,600円が年金月額となり、70歳より10年間給付されます。

●80歳開始の場合10口加入に対して (C)年金月額表

Table with 4 columns: 加入年齢, 年金月額, 加入年齢, 年金月額. Rows for ages 66-72.

〈表の見方〉70歳で30口加入された方は、59,800×3=179,400円が年金月額となり、80歳より10年間給付されます。

渋谷支部 添田 百枝

つたが砂山に登る人たちの応援団
なつて時をすごした。北麓にある月
牙泉を見ることなく過ぎた。

物館を見学し一泊。二十四日よりい
よいよ専用バスにて安西に出発。午
前中魏晋壁画墓見学、砂漠の地下に

二十五日安西を後に、敦煌へ二時
間で到着し、直接莫高窟へ直行した。
南北一・八kmにわたって彫られた石



嘉峪関にて

午後敦煌博物館を見学。夕食後
再び鳴砂山のふもと月牙泉へラクダ
で行くことにした。砂の中から湧き
出た三日月形の湖で底まで透き通る

二十八日空路にて中国一の古都西
安へ。午前中陝西省博物館見学、宗
代の西安碑林と清代の孔子廟、歴史

十三歳で秦王となり死後の生活を想
定して地中深く造られた壮大な宮殿
であり、秦始皇陵より東十kmで発見

午後乾陵見学。唐の三代高宗と
その皇后則天武后をまつる。また永
泰公主(高宗の孫娘)の陪塚も共に



頭北面西右脇

高知支部 小出つる子

北枕というと、亡くなった人を北枕に寝させるので縁起がわるいとき、通常の家庭では頭は、東、西、南、いずれかにして寝室の設定をするようです。

高知原にはキタマクラという魚がいて、猛毒があり(ふぐのようなものでしょうか)、食べると死ぬのでキタマクラといっています。

しかし東洋医学をいろいろ読んでみますと、人間は地球の持っている磁気に逆らって立ったり歩いたり寝たりしているの、地球という大きな磁石の磁場の中で縦横自在に過ごしているのですから、いろいろの障害

の何%かは磁場を切る(すなわちフレミングの左手の法則)ため細胞の一つ一つに(+)(-)があり、その集合体の人間の動き、働きすべて電気理論で解決されかけている現代、肩こり、腰痛、などに小型の磁石を貼って磁場のバランスをとって身体が軽くなるという学説も信ずるに足るものであり、また実際試してみても、効果を覚えていられる方々もあると思います。

シツルータ太子が宮殿を出て、野山に伏し、苦業したり法を伝えたりしている間に、自然に会得されたのが、北枕で顔を西に向け右脇を下にして寝るのが一番体調に良いこと

に気がつかれ、科学とは関係なしにいつも北枕に寝られる習慣が付き、入定される時そのままのスタイルで、最後の法話を弟子たちにされてから静かに永遠のねむりにつかれたのではないかと思います。とくに体力の弱られた晩年の釈迦は、寝姿が寝釈迦として信仰の対象になっていきます。

それを仏徒は釈尊入定の形は凡人の通常真似しないため北枕をさけて、故人となつて仏と一体になつた日に北枕をさせたのが、何となし二千年の間に北枕は縁起がわるいといういい伝えになつたのかも知れません。

現実に経典の中には、高僧や弟子たちが、ある程度悟りを得ることができたなら、「頭北面西右脇にて、如来涅槃の形をとる」という文句がある所があります。如来の説いた根本は慈悲であり、凡人が完全に修業して慈悲の心に満ち満ちた人のことを即身成仏といつて悟りを得、これに他にも奉げることが出来る人は仏性を得たといわれ、生きていて成仏と

いわれます。私の家も仏教ですが、あまり信心深い私ではありませんが、北枕の科学的解明は磁気と電気学的に考えてみると興味は深くなります。キリスト教徒は亡くなったときどっち向きにさせるのでしょうか。回教の人にはメッカに向かって足を向けて寝ないといわれていますし、私たちが諸外国へ行つてベッドに寝るときはどっちが頭になつているか全くわからない時もあります。右脇と

いひきをかく人には私は「横になつて寝なさいウブラの動きが楽になりいびきも少ないですよ」と教えて喜ばれています。

お腹の子宮の羊水中の赤ちゃんはお母さんがどんなスタイルで寝ても横寝になつているのかしら、これはギネの先生に研究していただきたいと思つています。超音波なら赤ちゃんのスタイルも母体にベラスツングなくしらべられるかも知れません。

ただし、枕の高さと肩幅とをよく考えて寝ないとねちがいをおこすかも知れませんね。キリスト教徒はキリストが立つたまま刺されたのですから、立ち寝、(もしあるとすれば)を不吉、(正常にあらざる形)という考えはないと思つています。上海や、敦煌で寝釈迦をみてからよけい地球の磁場と人の寝姿の相関を考へるようになりました。ご追試ご反論をおまちしたいものと存じています。

理事会議事録

日時 昭和58年9月17日

場所 日本女医学会 会議室

出席(敬称略)

- 三神、小俣、稲葉、久保田、佐藤、佐野、野沢、平瀬、丸山、森川、八木、明石、石川、石原、井上、

- 鶴川、川口、川島、関口、野呂、藤井、藤田、町田、三好、森、山本、添田、西山、山口

欠席(敬称略)

- 福永、山崎、白橋、橋本、柳瀬、荒木、鈴木、蓮井、マッキンスト

国際女医学会第19回国際会議参加旅行について、日本交通公社及び阪急交

通社代理店トラベルプロモードより日程、費用等の説明あり。

7月21日 東京都支部連合会準備

7月23日 常任理事会 庶務部会

7月25日 島根及び山口支部へ集

中豪雨見舞を発送する。

山口支部 会員被害者なし。島根支部 大屋 孝会員、床上浸水のため見舞金を贈る。

7月29日 日本女医学会誌95号、会費請求書 振込用紙を発送する。

7月29日 朱 一徳国際女医学会西太平洋地域副会長(韓国)来日

に対し、山崎国際連絡書記と会

談する。8月1日・9月8日 東京都支部連合会準備委員会(内規案について)を開催。

その他

(1)日本医師会より別紙声明書あり。

(2)全国医学生セミナー全国女子

医学生会の会へ発会一周年を記念し、祝電をする。

(3) 渋谷二丁目祭祀に際し、祝金(三千元)をする。

(4) 梅津隆子先生より東京女子医科大学、小野春生先生より東京警察病院退職の挨拶状あり。

(5) 沖文恵先生湯河原の「ゆうゆうの里」へ転居の挨拶状あり。

(6) 故林千鶴先生、故大野サダ子先生のご遺族より香典の礼状あり。

(7) 医療施設調査、病院報告購入する(四千三百円)

会計報告 佐藤常任理事
7月・8月分別紙どおり報告 承認

議題

一、国際女医学会カナダ旅行について
日時 昭和59年7月29日〜8月3日

場所 カナダのバンクーバー
(1) 旅行業社は、日本交通公社と阪急交通社とし、各2コースずつの作成依頼。
(2) 登録費は、期限つき三段階とし次のとおり。

三二五〇 昭和58年12月31日まで(日本女医学会切)

三二五〇 昭和58年12月10日(日本女医学会切)

三二五〇 昭和59年1月1日から4月30日まで(日本女医学会切)

三二五〇 昭和59年4月10日(日本女医学会切)

三二五〇 昭和59年5月1日以降(日本女医学会切)

(3) 登録費及び申し込み金として、十五万円を日本女医学会本部へ送金または振込のこと。
富士銀行 渋谷支店
日本女医学会カナダ国際女医学会 会長 三神美和
口座番号(普通預金)1680742

(4) 旅行参加者より雑費として国際女医学会への土産代等として五千円支払いのこと。

(5) 会員への案内パンフレット作成及びその費用は、旅行社担当。

二、定款について
(1) 理事数に関して
出席者全員より意見を出し検討の結果、運営方針によって理事数は多少異なることがあるが、人数よりも当会に最適の役員の選出が肝要であるとの意見が多数あり、人数を減じた方がよいとする者2名、保留2名であり、よって理事数は現状維持と決まる。

(2) 常任理事職制に関して
前回、決定権がない常任理事会での話し合い、また理事会で同じく検討をするのは、無意味との意見が述べられた。しかし、常任理事会である程度検討された事項をもって理事会で決定した方が、よりスムーズに運営され、問題に対する理解も深まる点を考慮に入れるので常任理事会は、現状のままとする。よって定款改正案は否決される。

三、その他

(1) 日中医学協会より訪中のお誘いについて
期間 昭和58年11月23日〜12月3日
費用 四十万円
切日 昭和58年9月25日
日本女医学会より多数参加を希望

(2) 関西医科大学同窓会より創立50周年記念行事の案内あり
とき 昭和58年10月8日
ところ ザ・シンフォニーホール(大阪)

(3) 優生保護法改正阻止連絡協議会より経費カンパのお願いあり
一万円送金

(4) 優生保護法改正問題をめぐるシンポジウム開催にあたり、長池博子会員が、産婦人科医としての立場から講演を予定している。

(5) 山崎国際連絡書記は、昨年引き続き本年も国連総会日本政府代表代理としてニューヨークへ出張されるので、その間、渉外部の佐野常任理事に連絡書記の代行を依頼。

(6) 次回常任理事会開催は、予定どおり十月二十二日。

(7) 森 智代理事が、四谷保健所長に就任。

以上 久保田くら
野沢 良美

*

日時 昭和58年11月26日
場所 日本女医学会 会議室
出席(敬称略)
三神、小俣、福永、久保田、佐野、白橋、野沢、橋本、平瀬、森川、八木、柳瀬、明石、荒木、井上、鶴川、川口、川島、鈴木、関口、野呂、蓮井、藤井、藤田、三好、山本、添田、西山

欠席(敬称略)
山崎、稲葉、佐藤、丸山、石川、石原、町田、マッキンストリ、森山、山口

理事会開始冒頭に際し
一、明治生命保険相互会社より企業年金保険について説明あり。
二、社団法人日本医師倶楽部より入会のお誘いの説明あり会員へ入会案内のため当会会員名簿購入希望あり五千円で購入していただく。

三、野呂理事より関西医科大学同窓会創立50周年記念式典に関しての礼あり。

庶務報告 久保田常任理事
10月22日 年金委員会と事業部会の共同会議及び常任理事会を行なう。

10月29日 東京都支部連合会準備委員会を行なう。

10月31日 日本女医学会誌96号、ルーペンダンパンフレット、会費請求書、振込用紙を発送する。

その他
(1) 関西医科大学同窓会より創立50周年記念式典に関しての礼状あり。

(2) 世界身体障害芸術家協会より絵はがき、ハンカチ購入の協力に對し礼状あり。

(3) 安田信託銀行「新宿西口支店」の名称を「新宿支店」に変更の連絡あり。

(4) インドシナ難民を助ける会へ寄付金あり(村上レイ子先生より五、六三〇円)。

会計報告 鶴川理事
10月分別紙どおり 承認

一、昭和58年度研修会について
とき 昭和59年1月22日
ところ 東洋ホテル
大阪市淀区豊橋三六二九

研修会
特別講演 午後2時
「遺伝子操作の臨床への応用の可能性」
大阪大学・教授 本庶 佑
吉岡弥生賞受賞者の業績発表
a 緑膿菌とその関連細菌の分類命名及び臨牀的意義について
岐阜大学 教授 藪内英子
b カスガマイシンの発見
微生物化学研究所 部長 浜田 雅

懇親会 午後4時30分
会費 五千円

二、昭和59年総会について
日時 昭和59年5月26日
会場 神奈川県立原民ホール
評議員会 午前11時〜12時30分
総会 午後1時〜3時

講演会 午後3時30分～4時30分
懇親会 午後5時30分～7時30分
懇親会及び宿泊はホテルニューグランド
費用
総会 三千円
懇親会 一万三千円
講演会
中山恒明先生
・東京女子医大附属消化器病センター名譽所長
・中山癌研究所所長
観光 昭和59年5月27日
Aコース 横浜市内観光
Bコース 横浜市内観光及び箱根方面(箱根泊)
三、その他
(1)前進座観劇会について
日時 昭和58年12月24日
場所 新橋演舞場
観劇料 一等席五千円
出し物①エリザベスサンダース ホーム物語
②奥州白石噺
今回は観劇券購入を理事の希望によることとした。
(2)事務職員の年末手当について 二・七カ月と決定。
(3)昭和59年1月理事会開催について
1月28日予定していた理事会を1月22日に開催される研修会前に行なう。
(4)日本女医会年金制度について

年金制度に関する財政計算の結果、算出された剰余金(約五千万円)を老齢年金及び中途脱退一時金の給付額を昭和58年11月1日付より増額する。
変更内容
加入期間
0年～5年
現行と同じ
5年～10年
現行比六・三%アップ
10年以上
現行比九・四五%アップ
(5)東京都支部連合会について
東京都支部連合会内規が出来上がり2月に総会を開催する。
(6)国際女医会カナダ会議について
イ、登録費
三二五カナダドル
昭和58年12月31日
日本でのメ切 12月10日
三五〇カナダドル
昭和59年4月30日
日本でのメ切 4月10日
三七五カナダドル
昭和59年4月30日以降
ロ、学術演題
堀口 文会員より提出あり
変貌する日本における男女の役割
以上 久保田くら
野沢 良美

常任理事会議事録

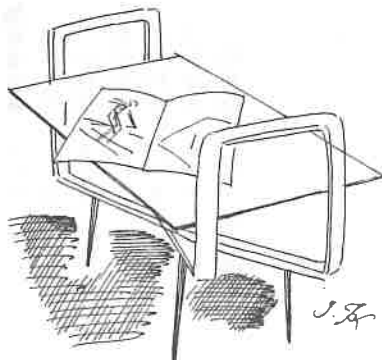
日時 昭和58年10月22日
場所 日本女医会 会議室
出席(敬称略)
三神、小俣、福永、稲葉、久保田、佐藤、佐野、白橋、野沢、橋本、平瀬、丸山、森川、八木、柳瀬
欠席(敬称略)
山崎
席務報告 野沢常任理事
9月17日 理事会を行なう。
9月20日 広報部会を行なう。
10月3日 国連総会日本政府代表代理として出席の山崎倫子先生歓迎会に柳瀬常任理事出席。
10月6日 48婦人団体主催の優生保護法改正問題をめぐるシンポジウムへ柳瀬常任理事と川口、町田、山口の各理事出席。
10月8日 関西医科大学同窓会50周年式典へ町 静子大阪第一支部長出席。(祝金三万円)
10月9日 青森支部総会へ三神會長出席。
10月14日 広報部会を行なう。
その他
(1)厚生省医務局医事課より庁舎移転のお知らせあり。
(2)島根支部の大屋 孝、花田カツ先生より7月の集中豪雨災害見舞いの礼状あり。
(3)渋谷二丁目祭礼委員会より寄付の礼状あり。
(4)優生保護法「改正」阻止連絡協

議会より協力金の礼状あり。
(5)韓国女医会15名は、日本を観光旅行のため招請状を発行してほしいとの希望あり、韓国内事情により来日未定。
柳瀬常任理事よりNGO、国際婦人年連絡会及び優生保護法改正問題をめぐるシンポジウムに出席しその報告あり。
三神會長より青森支部総会へ出席しその報告あり、なおその後同支部より日本女医会年金へ多数の加入者があつた向、つけ加えられた。
関西医科大学同窓会創立50周年記念式典へ町 静子大阪第一支部長出席し盛会であつたとの報告あり。
連絡事項
(1)昭和58年度国立婦人教育会館公開講演会について
(2)昭和58年度全国婦人教育交流集会について
(3)昭和58年度婦人労働旬間の実施に対する協力方依頼について
会計報告 丸山常任理事
9月分別紙どおり報告
以上 久保田くら
野沢 良美

会員 動 静

入会会員(敬称略)
栃木支部 児玉浩子
阪大医 昭45年卒
栃木支部 西田由美子

- 東邦医 昭43卒
- 荒川支部 船松ヒサ子
- 東邦医 昭32年卒
- 神奈川支部 楠木富美子
- 東女医 昭16年卒
- 山梨支部 中沢敦子
- 東女医 昭18年卒
- 奈良支部 小長谷陽子
- 名古屋大 昭50年卒
- 大阪7支部 稲垣千代子
- 京都大 昭39年卒
- 大阪8支部 揖場和子
- 大阪市大 昭49年卒
- 大阪8支部 山内圭子
- 長崎大 昭55年卒
- 兵庫支部 立石晴代
- 兵庫医 昭56年卒
- 福岡支部 橋本フユノ
- 東邦医 昭15年卒



- 長崎支部 伊藤圭子
- 東邦医 昭36年卒
- 長崎支部 片田玲子
- 長崎大 昭34年卒
- 長崎支部 河合紀生子
- 長崎大 昭40年卒
- 長崎支部 助村房子
- 長崎大 昭51年卒
- 長崎支部 高原芳子
- 長崎大 昭33年卒
- 長崎支部 長田リエ子
- 長崎大 昭43年卒
- 長崎支部 原田隆子
- 長崎大 昭34年卒
- 長崎支部 松田イツ子
- 東邦医 昭26年卒
- 長崎支部 間宮節子
- 東邦医 昭17年卒
- 長崎支部 山田京子
- 長崎大 昭46年卒
- 長崎支部 山田佑子

会員の消息

*越イハ(長野支部)

東女医・昭和10年卒
昭和58年11月3日、勲四等瑞宝章の榮譽を受けられました。長野保健所、長野地方貯金局に勤務、結核予防運動に尽力。国立長

長崎大 昭41年卒

新卒入会会員(敬称略)

- 北海道支部 石田明美 旭川医大
- 北海道支部 柴田葉子 旭川医大
- 埼玉支部 田中典子 東女医
- 栃木支部 瀬野寿理 東女医
- 茨城支部 海老原和子 愛知医大
- 千葉支部 築藤玲子 千葉大
- 足立支部 岡田まゆみ 聖マリアンナ医
- 板橋支部 花田裕子 日大医
- 品川支部 本康あき子 東女医
- 渋谷支部 佐久間理恵 東邦医
- 新宿支部 井上敬子 東女医
- 新宿支部 上原まゆみ 東女医
- 新宿支部 酒井香子 東女医
- 新宿支部 中野真理 東女医
- 杉並支部 加藤万季 昭和医大
- 世田谷支部 武田康子 医科歯科大

野家庭裁判所の医務室に勤務、健康管理と診療に、20年間尽くされた。

*福田 貞(杉並支部)

東邦医・昭和7年卒
昭和58年11月3日、勲五等瑞宝章の榮譽を受けられました。

広報部では会員の皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に本部・広報部までご一報下さい。

編集後記

- 豊島支部 内村久美子 日大医
- 豊島支部 岡田裕子 東海大
- 文京支部 坂井聡子 聖マリアンナ医
- 文京支部 吉原明江 順天大
- 都下支部 赤間由紀 杏林大
- 都下支部 棟田三保 杏林大
- 神奈川支部 常盤由美子 群馬大
- 愛知支部 小泉恵里子 徳島大
- 愛知支部 堀美由貴 愛知医大
- 長野支部 松岡奈々子 東女医
- 岐阜支部 玉田元子 愛知医大



開催されました。

第九十七号の会誌は、三神会長の年頭の辞、支部近況は、福井、石川、青森の三県よりいただきました。関西医科大学同窓会創立五十周年式典が昨年十月大阪のザ・シンフォニーホールで行なわれました。心よりお祝い申し上げます。佐藤常任理事の「厚生白書を読んで」は財政見地からのみの医療制度改革は、将来国民の健康水準を再び低下させる禍根を残すことにならないかと心配されています。

添田幹事の「シルクロードの旅」、忙中閑には小出先生の「頭北面西右脇」等多数のご投稿をいただきました。のしく読ませていただきました。

昨年は三宅島の噴火、大韓航空機の墜落、年末の衆議院選挙等とあわ

- 石川支部 永田美和子 鳥取大
- 福井支部 西浦智佳子 関西医大
- 三重支部 村田明子 愛知医大
- 大阪10支部 岩橋 栄 川崎医大
- 大阪10支部 萩野真奈美 兵庫医大
- 京都支部 宮本敦子 大阪医大
- 兵庫支部 東山真里 神戸大
- 和歌山支部 楠本幸子 和歌山医大
- 岡山支部 尾本佳世 川崎医大
- 広島支部 岡崎耕子 鳥取大
- 広島支部 富永仁美 東女医
- 島根支部 板東生子 島根医大

- 佐賀支部 平川奈緒美 熊本大
- 大分支部 市場康子 東女医
- 宮崎支部 時山史子 宮崎医大
- 物故者会員(敬称略)
- 墨田支部 平山浪江
- 昭和58年9月11日ご逝去
- 神奈川支部 松本美枝
- 昭和58年10月9日ご逝去
- 兵庫支部 藤本フキ子
- 昭和58年7月8日ご逝去

本年こそ日本女医学会にとって、飛躍の年でありませう、お互いに頑張りましょう。(平瀬)

昭和59年1月20日 印刷
昭和59年1月25日 発行
編集人 八木 貞子
発行人 日本女医学会
発行所 東京都渋谷区渋谷2-8-17 青山宮野ビル
社団法人 日本女医学会
TEL(498)〇五七一
制作 東京都文京区水道1-5-16 株式会社 金剛出版